



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 100 **穂の国森づくりの会**

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail / honokuni@honokuni.org
http://www.honokuni.org/

フォレスト二代目編集長を務め、創刊号から発行100号記念号まで係わらせて頂いたことを大変嬉しく思います。「75万人の森づくり…森を生かし、森を育て、森の恵みを伝えよう。」をテーマに如何に広報誌として皆さんに読んで頂けるか?関心を寄せて頂けるか?初代編集長と悩みました。森林に対する知識のない素人編集部で、クイズに答えてのプレゼントコーナーや読者の声コーナーを設け、環境に優しい再生紙の利用やソイインクで印刷をおこないました。3号からはシリーズ化し好評を得た奥三河だよりが始まり、4号では当時の事務局員の結婚式の記事を載せるなど家族的な雰囲気編集部でした。6号からは専門知識豊富な森田君が加わり、編集作業が楽になり内容の濃い記事を書ける事が出来るようになりました。50号からはカラー印刷でお届けしております。100号にあたり、これまでフォレストを応援して戴きました読者の皆様や編集に係わり協力して頂きましたすべての皆様に感謝を申し上げます。(わ)

森の中で自分自身を磨く!

次世代リーダー養成研修を始めました!!

森林は、水源かん養や山地災害の防止、地球温暖化の緩和など多面的な機能を有しています。この多面的機能の中で、当会では森林の保健・レクリエーション機能に着目して今年度から新たな事業を始めました。

それが「森の中で自分自身を磨く!次世代リーダー養成研修」です。愛知県幡豆地域(西尾市)で民泊やインパウンド事業、自然を活かした地域づくり企画等を幅広く展開されている株WABISABIさんと連携して実施しています。

この研修の特徴は、街中の閉ざされた会議室ではなく、緑と水が豊かな愛知県民の森を会場としているところです。この「転地効果」によって、豊かな発想力、直感力、判断力を養い、コミュニケーション力を育むことができることを狙いにしています。

主に企業や団体の若手・中間管理職員を対象にした1泊2日の研修で、今年度は5月10日~11日、9月13日~14日に実施しました。

肝心の研修プログラムは、今話題の内容が盛りだくさんで、とてもこの紙面では紹介しきれません。講座のタイトルだけ紹介しますと以下のとおりです。

1日目のプログラム

- 1.最先端テクノロジーを学ぶ(座学)
(AI時代が進むと働き方はどう変わるのか?)
- 2.次世代リーダー育成プログラム(座学)
- 3.森を活用したマインドフルネス(体験)
- 4.コミュニケーション力を高める森林活動(体験)
- 5.焚き火チームビルディング(体験、交流会)



▲森の中でのムービングメディケーション

2日目のプログラム

- 1.森の中でのムービングメディケーション(体験)
- 2.研修のまとめ(座学)

今年度は、試行的な実施でしたが、受講生の皆さんからは、①「形式的ではなく、会話に近いような講習だったので、前向きに取り組めました。講習、体験、懇親と様々な内容でありながら、相関を感じられ、とても有意義な時間となりました。」、②「とても心と身体がリフレッシュされるプログラムで新鮮な研修内容でした。従来の研修よりも内容の吸収力・集中力が違う自分に気がきました。」という大変好評なアンケート結果を得ることができました。

平成30年度も5月16日~17日、9月19日~20日に実施予定です。詳しくは、本誌4ページをご覧ください。ご参加お待ちしております。

これまでの、これからのフォレスト

フライングですが…、フォレスト100号発行を前にして、これまで編集に係わっていただいた皆さんと100号記念親睦会を開催し、これまでの編集を振り返ってみました(右表)。また、編集員の二人から寄稿をいただきましたので下記に紹介します。



▲100号を記念してフォレスト編集員親睦会

発行年	号数	フォレストの変遷
1997	1号	6月創刊 色紙2色刷り もちろん再生紙
1997	3号	「奥三河だより」開始(継続中)
1999	11号	東三河の自然や民俗を紹介する連載を始める(全10シリーズ71号まで)
1999	12号	「ひと」シリーズ開始(全6回)
2004	42号	印刷に植物性大豆油インクの使用を始める
2004	43号	「穂の国森の広場」開始(全13回)
2005	50号	50号記念を機に紙面をオールカラー化
2007	60号	会発足10年記念号
2007	61号	各事業の10年間の歩みを掲載(全5回)
2011	76号	「会員さんの森づくり探訪」開始(継続中)
2014	90号	パンフレット代わりに年度毎の事業概要を紹介(毎年更新)
2015	92号	連載「穂の国自然観察」開始(継続中)
2017	100号	12月発行

森と子供

花井恭子

フォレスト100号発行おめでとうございます。創刊時にかかわった者としては、ちょっぴり誇らしい気持ちです。森づくりの会と共に末永く続くことを祈っています。

先日テレビで、デンマークの森の幼稚園が紹介されていました。5~6歳の子供でしょうか、木を切ったり、運んだりしていました。刃物を使っての作業も子供達でやっていました。思わず怪我をしないかと、ハラハラしてしまいましたが、子供達はたくましく、誇らしげな顔つきで、作業をしたり、遊んでいました。ここでは字を教えるなどの勉強はしていないそうです。私には、これから社会生活をしていく上での様々なスキルを身体全体で学んでいる様に感じられました。

そして、私の子供時代も(田舎でしたので)遊び場は林や森の中であったことを思い出しました。春はワラビ、タラの芽などの山菜採り、夏は野イチゴ、秋は栗、椎の実拾い、アケビ取り、キノコ狩りなどです。初冬には落ち葉を拾い集めて(ご掻(か)き…方言?)家に持ち帰り、風呂の焚き付けとしていました。当時は風呂は薪で沸かしていました。子供も大人の手助けをして、親からほめられるのが、嬉しかったのです。社会の一員となった様な気分でした。

これからも子供にとって森は自由に遊んだり、木の実を採集したりできる空間であって欲しいと願っています。

おかげさまで100号

石原勝好

おかげさまでフォレストは今号で100号を迎えました。すべての読者の皆様と穂の国森づくりの会の活動に参加して頂いた方たちのご支援とご協力の賜物です。心から御礼申し上げます。

穂の国森づくりの会の機関誌フォレストの編集に係らせていただいて5年になり、記念すべき100号の発行にコメントさせていただけることを大変光栄に思っております。諸先輩方の20年間、100号の功績の重みを痛切に感じています。

先日、フォレストの100号を記念して編集委員で食事会をした際に、以前編集委員をされていた方とお話をする機会がありました。昔の苦労話、楽しい思い出話を聞かせて頂き大変勉強になりました。

少し私のことを紹介させてください。私は豊川市内で木材、建材の販売会社の社長をしております。木材の取り扱いは外材が多いですが、地元三河材も扱っています。その関係もあり、穂の国森づくりの会の活動に賛同し入会し、その後フォレストの編集長にお誘いいただき、編集にかかわらせていただくようになり、84号では「木工を楽しむ基礎知識その2」という記事を書かせていただきました。

今後もフォレストの発行に際して、より読者の皆様のご希望に添えるような記事を作っていきたいと思っております。これからも150号、200号に向けて頑張っていりますので皆様の応援を宜しくお願い致します。

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しす

その9
「鳳来寺山」
中西 正

新緑の鳳来寺山参道自然観察会 2006.5.18

小中学生の頃、鳳来寺山は遠く深い山と感じていた。それが車を駆って自由に行動できるようになると近い簡単な山に感じるようになった。きっと多くの人がそう感じるのだろう。無理して観察会に行かなくてもいつでも行ける、ということになる。だがそうだろうか、石段を歩いて登れば鳳来寺山は奥深い山であると感じる。今回の講師は加藤等次先生だった。

門前を含め参道には自然の見所がたくさんある。入り口付近にはホンバシャクナゲが咲いている。鳳来寺山が含まれる奥三河だけに生えるシャクナゲだ。葉が細く、花はピンクのきれいなものだ。シャクナゲとしては低地に生える。自生している姿を見るためには鳳来寺山の頂上に登ればいい。その岩場にはミツバツツジやこれまたきれいな花のヤシオツツジが見られる。鳳来寺博物館の前にはマツにつけられたセッコクが咲いていた。岩や木に着生するランの仲間、この自生の様子も頂上周辺の岩場で見る事ができた。セッコクがつく岩場には葉の裏が白いウラボシギボウシがついていることがある。ホンバシャクナゲ同様に分布がこの地方に限られたものである。



▲鳳来寺山参道



▲モミヤツガが混成する中間温帯林



▲セッコク(左)、ウラボシギボウシ(右)

それらの中に中間温帯の樹木であるモミヤツガが混成しているのが興味深い。中間温帯とは照葉樹林に代表される低地帯と落葉樹林であるブナに代表される山地帯の間に位置する植生帯で、その代表がモミヤツガである。この植生帯の高さは標準的には600m位である。(この地区においては、2013年10月20日にも同様のテーマで観察会を行った)

門前の途中には国指定の天然記念物のネズの木がある。樹齢1400年といわれ、高さは9mで木の半分は枯れていて葉がついていない。枯れている部分も針葉樹のために腐らずにあり、痛ましい姿になっているが大切に守られている。参道の途中には日本で一番高いスギである「傘杉」がある。高さは60m、幹の周囲は7.5m、樹齢は800年という。鳳来寺山全体が国の天然記念物であるためか、そこに生えるこの木には天然記念物などの個別の指定がないようだ。

鳳来寺山は豊橋平野からも眺められる。豊川に沿って上がってくる南からの暖気を受け止めるように立っている。従って鳳来寺山には暖地の植物が数多く見られる。ルリミノキは瑠璃色の実をつけることから名づけられている。イズセンリョウは伊豆半島に多いということで名づけられた。クルマシダ、シシランといったシダ植物も暖地性のものである。植生としてみると照葉樹林が成立する場所であり、シイやタブ、アラカシ、アオキなどが見られる。



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等となたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法をご確認の上、補の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

2月6日(火)

設立20周年記念事業 「穂の国の森」これまでとこれから

場 所：穂の国とよはし芸術劇場PLAT
「アートスペース」
(豊橋市西小田原町123番地)

スケジュールと内容

- 14:30 開会
穂の国森づくりの会20年の活動DVD上映
 - 15:00 第1部 映画「うみやまあひた～伊勢神宮の森から響くメッセージ～」上映会
映画情報は下記のwebページをご覧ください。
<http://umiyamaaida.jp/>
 - 16:45 第2部 パネルディスカッション
【テーマ】
「森林の恵みを活かした未来ある地域づくり」
【コーディネーター】
穂の国森づくり会理事長 神野吾郎
【パネリスト】
①瀧澤 信氏(うみやまあひたプロデューサー)
②愛知県立田口高等学校
③田實健一氏((同)新城キックコース代表)
④野中 葵氏(2017ミス日本みどりの女神)
 - 17:45 閉会
 - 18:00 交流会(大会議室)
- 定 員：第1部、第2部ともに先着150名
参加費：第1部、第2部ともに無料
交流会は、4,000円/名
申込み：参加者全員の氏名、住所、電話番号を事務局へ
(1月31日(水)締切り)

※本事業の第2部パネルディスカッションは(公財)豊川水源基金「水源林保全流域協働事業」の助成を受けています。

2月24日(土)

はじめての 森づくり体験講座

- 場 所：愛知県民の森(新城市)
 - 集 合：午前8時半に豊橋信用金庫お客様相談所前
または午前10時に現地
 - 解 散：午後3時に現地または午後4時半に集合場所
 - 定 員：20名(申込多数の場合は抽選)
 - 参加費：無料
 - 内 容：除伐(細い低木を伐る作業です)
 - 対 象：どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
 - 持ち物：昼食、飲料、軍手、雨具など
 - 申込み：参加者全員の氏名、住所、電話番号を事務局へ
2月20日(火)締切り
- ※本事業は(公財)豊川水源基金「水源林保全流域協働事業」の助成を受けています。

5月16日(水)～
17日(木)

森の中で自分を磨く! 次世代リーダー養成講座

- 共 催：(株)WABISABI
 - 場 所：愛知県民の森
 - 集 合：16日午前9時にモリトピア愛知玄関前
 - 解 散：17日午後12時に集合場所(1泊2日)
 - 対 象：企業等の若手・中間管理職員
先着20名
 - 参加費：50,000円/名(宿泊代、夕食・朝食込み)
(当会会員外は58,000円/名)
 - 1日目のプログラム
 - ①最先端テクノロジーを学ぶ(座学)
(AI時代が進むと働き方はどう変わるのか?)
 - ②次世代リーダー育成プログラム(座学)
 - ③森を活用したマインドフルネス(体験)
 - ④コミュニケーション力を高める森林活動(体験)
 - ⑤焚き火チームビルディング(体験、交流会)
 - 2日目のプログラム
 - ①森の中でのムービングメディケーション(体験)
 - ②研修のまとめ(座学)
- ※研修の様子は、下記のYouTubeをご覧ください。
https://www.youtube.com/watch?v=k0y_UeUdQAA
申込み:事務局へご連絡ください。エントリーシート
(兼申込み用紙)をお送り致します。

9月16日(水)～17日(木)も上記と同様に開催致します。

森づくりベンダー新規設置のご紹介

設置協力企業名	設置場所
神野建設(株)	神野建設(株)豊橋市新西浜町建設事務所内
(株)トヨテック	(株)トヨテック 光学技術センター内(豊川市新豊町)

森づくりベンダーの設置にご協力いただき
ありがとうございます。